

2 奈良時代の政治

今回の学習内容はこう理解せよ！

律令に基づき政治制度が整えられるのと平行して、支配領域の拡大も進んだ。一方、中央の政治では、皇族・貴族が政権をめぐる争いを繰り返し、政権担当者が何度も交替した。ここでは朝廷による支配領域拡大の推移を追うとともに、奈良時代の政権担当者の変遷を押さえよう。

知識を整理

◆遷都と貨幣鑄造

▶平城京

710年 元明天皇が藤原京から平城京へ遷都
唐の長安に倣い、**条坊制**に基づいて区画される

▶貨幣鑄造

天武朝頃 **富本銭**の鑄造

708年 ① (皇朝十二銭の最初)の鑄造

711年 流通をめざし、②を發布する

→現物交換が主流の当時、京・畿内以外にはあまり流通しなかった

◆支配領域の拡大

▶蝦夷征討

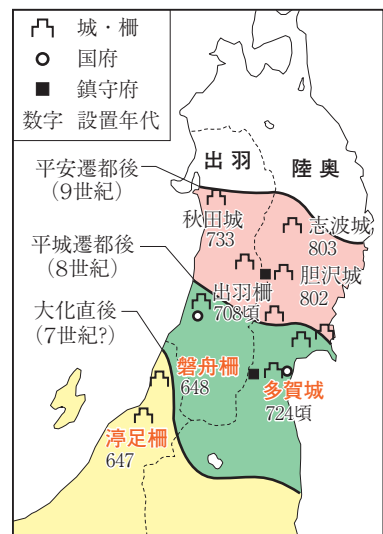
年代	天皇	出来事
647～648	孝徳	日本海側に 淳足柵 ・ 磐舟柵 を設置
658～660	斉明	阿倍比羅夫 が秋田・津軽方面を攻略
712	元明	③国設置
724頃	聖武	多賀城 設置、ここに④国府、鎮守府を置く

7世紀半ばには日本海側に支配領域を拡大していた政府は、奈良時代になると太平洋側にも進出していった。

▶南方領域の拡大

713年 ⑤国設置…**隼人**と呼ばれた人々の服属多嶺(種子島)、掖久(屋久島)など薩南諸島の島国も政府の交易下に入る

▼蝦夷征討



◆政局の変遷

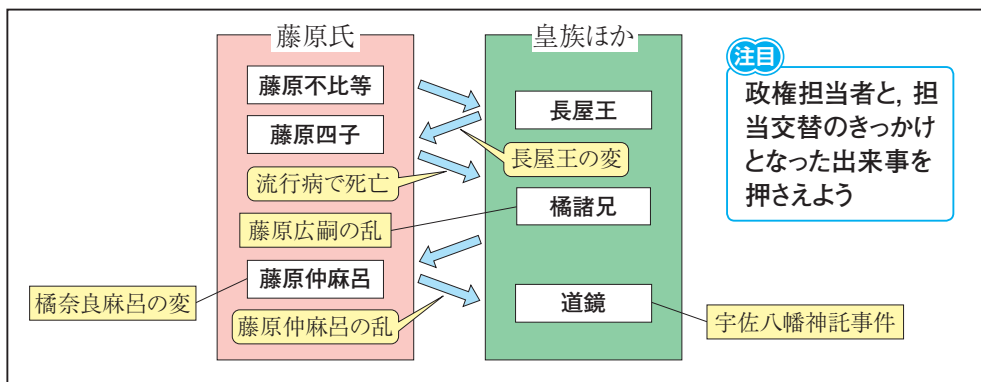
奈良時代には政争が激化し、藤原氏と皇族などが政権をめぐる争った

天皇	政権担当者	出来事
元明	藤原不比等	710 平城京遷都
元正	長屋王	720 藤原不比等死去
		721 長屋王, 右大臣に就任 (724 左大臣に就任) ↳百万町歩開墾計画や三世一身法を出す
聖武	藤原四子	729 長屋王の変…藤原四子が長屋王を自殺させる → ⑥ (不比等の娘) を聖武天皇の皇后とする
		737 藤原四子, 相次いで病死
	橘諸兄	738 橘諸兄, 右大臣に就任 <small>たちばなのもろえ</small> ↳吉備真備・玄昉を重用して唐風政治を行う
		740 ⑦ の乱…諸兄の台頭に不満を持つ
孝謙	藤原仲麻呂	藤原仲麻呂の台頭…光明皇太后の信任を得る
		757 ⑧ の変…諸兄の子が謀叛を計画
淳仁	道鏡	758 仲麻呂, 淳仁天皇から <small>えみのおしかつ</small> 惠美押勝の名を賜る
		道鏡の台頭…孝謙太上天皇の信任を得る
称徳		764 藤原仲麻呂の乱→仲麻呂敗死
		769 宇佐八幡神託事件
光仁		770 称徳天皇死去→道鏡は下野薬師寺に追放

光仁天皇は道鏡を追放し、仏教政治で混乱していた律令政治と財政の再建をめざす
↳天智天皇の系統。式家の藤原百川らが擁立

図表で知識を再構築

▼奈良時代の政局の変遷



空欄の解答

- ① 和同開珎 (わどうかいちん) ② 蓄銭叙位令 (ちくせんじょいれい) ③ 出羽 (ひろつぐ) ④ 陸奥 (りくお) ⑤ 大隅 (たご) ⑥ 藤原光明子 (とうげんこうみょうし) ⑦ 藤原広嗣 (とうげんこうじ) ⑧ 橘奈良麻呂 (たちばなならまろ)